

一迫小学校から 新生・一迫小学校へ



栗原市立
一迫小学校閉校・一迫幼稚園閉園記念誌



ありがとう
～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2013.03



あいさつ				
一迫小学校の閉校、一迫幼稚園の閉園に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	1	
一迫小学校の閉校、一迫幼稚園の閉園に寄せて	栗原市教育委員会 教育長	亀井 芳光	2	
閉校に寄せて	栗原市立一迫小学校 校長	阿部 仁	3	
一迫小から新・一迫小へ 心あわせて進むとき	栗原市立一迫小学校 P T A 会長	菅原 功	3	
校歌・校旗・校木			4	
一迫小学校・幼稚園のあゆみ			5～8	
学校の概要			9～10	
歴代校長			11～12	
歴代 P T A 会長			13	
写真で綴る思い出			14～18	
寄稿文				
～歴代校長～	木の香漂う一迫小学校での2年間	第31代校長	石川 孝泰	19
	「わが母校」一迫小学校	第32代校長	佐藤 達也	20
～元職員～	古き良き時代かな・・・	大崎市立岩出山小学校 教頭	野澤 恵美	21
	旧校舎から新校舎へ	栗原市立津久毛小学校 教諭	石川恵久子	21
	一迫小学校との「出会い」	栗原市立萩野小学校 教諭	小野寺吉郎	22
	一迫小学校閉校に寄せて	栗原市立一迫小学校 元教諭	五十嵐安子	22
～卒業生～	温もりのある木造校舎	昭和32年度卒業	高橋 義昭	23
	母校よ永遠に	昭和40年度卒業	佐藤 俊郎	23
	思い出	昭和41年度卒業	大堀 靖	24
	小学校時代の思い出から	昭和41年度卒業	衡田 枝美	24
	時の流れ・思い出多き母校	昭和44年度卒業	曾根 一也	25
	一迫小学校の思い出	昭和46年度卒業	鹿野 昌孝	25
	一迫小学校校舎	昭和46年度卒業	氏家 清二	26
	一迫小学校時代の思い出	昭和55年度卒業	狩野 昭博	26
	一迫小学校の存在	昭和57年度卒業	後藤 伸悟	27
	思い出の旧校舎	平成4年度卒業	菅原 琢哉	27
	小学校の時の思い出	平成4年度卒業	松田 吉広	28
	小学校の思い出	平成7年度卒業	松田 義信	28
	色褪せぬ記憶	平成7年度卒業	三塚 絵美	29
	一迫小学校が教えてくれた、たくさんの事	平成11年度卒業	長柴 翔	29
	閉校に寄せて	平成13年度卒業	長柴 加奈	30
～在校生から（寄せ書き）～		～1年生	31～32	
		～2年生	33～34	
		～3年生	35	
		～4年生	36～37	
		～5年生	38	
		～6年生	39～40	
一迫幼稚園のページ				
あいさつ				
一迫幼稚園閉園に寄せて	栗原市立一迫幼稚園園長	三塚 智恵子	41	
幼稚園の思い出～思い出のアルバム			42	
幼稚園の思い出～絵とつぶやき				
		～年少組	43～44	
		～年長組	45～46	





一迫小学校の閉校、一迫幼稚園の閉園に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

清らかな長崎川が流れ、田園風景が広がり、縄文時代の遺跡が残る、自然豊かな地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた一迫小学校並びに一迫幼稚園が閉校・閉園するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

明治6年に真坂高畑の仮校舎にて「真坂小学校」として開設以来、140年にわたる長い歴史をもつ一迫小学校は、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと地域の温かな目に守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。恵まれた教育環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされておりますことは、地域皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。

さらに、昭和43年には一迫幼稚園が設立され、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、幅広い分野で御活躍されておりますことは、一迫地区の皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史の中で、保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する深い御理解と御協力によりまして、健全な子どもたちの育成やPTA活動が活発に行われてきたのが一迫小学校であります。

一迫小学校の校舎は、一迫の歴史と伝統を踏まえ、かつ未来を展望しようと建設された、「縄文式集落をイメージした、夢いっぱいの木造分棟式校舎」であり、全国的にも類を見ない壮大なスケールの施設であります。また、平成10年度には、「建設省設立50周年記念、公共建築百選」に小学校として全国でただ1校顕彰され、この「感性が宿り 躍進する学び舎」で、多様な学習活動を展開されてきました。特に、「心身ともに健康で、自らはげむ、心豊かな子どもの育成」を教育目標に、「聞く」「読む」「書く」「話し合う」活動を大切にした学校づくりを推進してこられました。

このような活動が認められ、様々な分野において全国表彰や宮城県表彰などを受賞してきたほか、プラスバンドは、毎日の地道な練習が実を結び、全国大会で数々の優秀な成績を収めてきたところであり、教育環境の整備や地域と学校が一体となった教育が子どもたちを健やかに、そしてたくましく育ててきたものと感じております。

これまで一迫小学校並びに一迫幼稚園を巣立った皆様にとりましても、母校の閉校・閉園は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ一迫の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

栗原市といたしましても、今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、一迫小学校並びに一迫幼稚園が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。

史跡公園の整備が進む山王団遺跡



一迫小学校の閉校、一迫幼稚園の閉園に寄せて

栗原市教育委員会
教育長 亀井 芳光

平成25年4月、一迫小学校は姫松小学校・金田小学校・長崎小学校と再編し、新生「一迫小学校」として現在の校舎のもとでスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力を頂きました一迫地区の皆様へ心より感謝申し上げます。

さて、私は、3回にわたり一迫小学校に勤務させていただきました。最初は病気で入院された先生の代替教員として昭和47年4月から5月までの2ヶ月弱の期間でした。二度目は昭和60年から3年間お世話になりました。当時は現在地に移転前の古い校舎でしたが、伝統校としての趣があり格式を備えた威風堂々の校舎だったことを今でも覚えています。校庭の西側に建てられていたかやぶき屋根の資料館が火災にあったこと、校木の松を南沢地区から運んできたことなど、今でも鮮明に脳裏に刻まれています。三度目は、平成16年4月から平成18年3月までの2年間、校長として勤務させていただきました。日本の学校建築百選に選ばれた縄文時代を想定した新しい校舎は、地域や子どもたちの自慢であり、その環境の中で明るく元気に学び・遊ぶ姿が目に見えます。また、金管バンドの東日本大会で北海道に行き、台風のため学校に帰ってくるのが一日遅れになったことも忘れられない思い出です。また、協力的な地域やPTAの皆様、すばらしい教職員に恵まれ、私の教職生活の中で一迫小学校が最も長い勤務年数となりました。

そのように歴史と伝統のある学校が閉じられるということに一抹の寂しさを覚えるのは地域の皆様にとっても、多くの卒業生にとっても同じだと思います。しかしながら、児童数が著しく減少し、今後も減少傾向が続く現状を踏まえ、また、急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた一迫小学校・一迫幼稚園の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校・幼稚園」の創造に向けて取り組んでいってくれることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員をはじめ関係機関との連帯が大切であります。新たに仲間となる4つの小学校、そして、2つの幼稚園の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校・幼稚園を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校・閉園にあたり、これまで永きにわたり一迫小学校及び一迫幼稚園を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様へ心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。





閉校に寄せて

栗原市立一迫小学校
校長 阿部 仁

140年の永い歴史と伝統、校風を築いてまいりました「一迫小学校」が閉校を迎えました。

一迫小学校の歴史を振り返りますと、明治6年6月13日に児童数50余名による「真坂小学校」として開校して以来、地域の学舎として、子どもたちの教育や地域社会の発展に大きく貢献してまいりました。その間、約1万8千名を超える人材を輩出してきました。

卒業された皆さんは、地元・一迫はもとより、広く県内外で活躍されております。その原動力は、故郷・一迫への熱い思いや、校風の一つでもある子どもたちの「ひたむきさ」「優しさ」、そして、一迫小学校で育まれた温かく豊かな友情や信頼関係にあると思っています。

閉校は地域の方々や卒業生、そして、子どもたちにとって寂しいことです。しかし、一迫小学校は現在の校舎を活用し、平成25年4月から姫松小学校、金田小学校、長崎小学校と再編し、新生「一迫小学校」として新たにその歴史を刻むこととなります。

子どもたちは、新学期から新しい環境のもとで、現在よりも100名増える大勢の友達と一緒に勉強することになります。これまでの伝統と校風を大切にしながら、一迫小学校で学んだことを誇りにし、さらに勉強や運動、様々な教育活動をとおして、目指す児童像「やさしく」「かしこく」「たくましく」にあるとお祈り、心身を鍛え、心豊かに成長することを願っています。そして、一迫を故郷とする新生「一迫小学校」の子どもたちにとって、それぞれの人生を歩み、幾つになっても温かく豊かな友情や信頼関係が続いていってほしいものです。

「子どもは家庭で生まれ、学校で学び、地域で磨かれる」と言われます。そういう意味でも、今後とも心温まるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、閉校の挨拶といたします。



一迫小から新・一迫小へ 心あわせて進むとき

栗原市立一迫小学校
PTA会長 菅原 功

一迫小学校、姫松小学校、金田小学校、長崎小学校の4校の再編により、平成25年3月をもって一迫小学校が閉校することとなりました。

再編計画が持ち上がったとき、私を含め誰もが、今のままを望んだと思いますが、少子化に伴う教育環境の劇的な変化には、現実を受け入れるしかありませんでした。確かに、小規模校にもたくさんの長所がありますが、再編後はより多くの友達に触れることによって、たくましい心身と多様な価値観を持てる児童となるよう願わずにはられません。

さて、一迫小学校の歴史は古く、その前身は明治6年の「真坂小学校」と聞いており、130年以上の歴史になりますが、校歌にも輝かしい歴史があります。

- 1 みのりゆたけき 栗原のみなかみ清き 一迫 歴史の由緒 かんばしく 栗駒山は わが里のとわなる空に そびえたり
- 2 このよき里の まなびやの 輝く窓に ふみ読みて さきがけはげむ 錬成の 至誠敬愛 勤儉に心あわせて 進むとき

この校歌は、制定年は不詳ですが、たくさん子どもたちが卒業式で歌い巣立っていきました。私は、残念ながら本校の卒業生ではありませんが、大人でも覚えやすい歌詞にメロディで、大変良い校歌だと感じています。耳にするたびに、自分が小学生だったころの町やふるさとを思い出させてくれる、心休まる校歌です。

最後に、この一迫小学校の輝かしい足跡が皆様の心に残り、いつまでも思い出され、語り継がれていくことを祈念し、閉校記念の言葉にさせていただきます。





一迫小学校 校歌

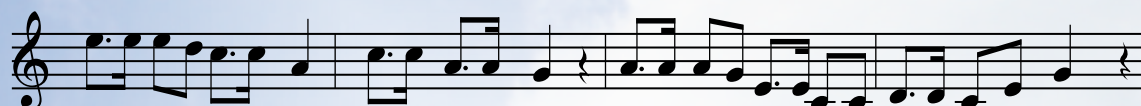
白鳥 省吾 作詞
弘田 龍太郎 作曲



みのりゆ たけき くりはらの



みなかみ きよき いちはさま



れきしのゆいしょ かんばしく くりこまやまはわがさとの



とわなる そらに そびえたり

一、みのりゆたけき 栗原の

みなかみ清き 一迫

歴史の由緒 かんばしく

栗駒山は わが里の

とわなる空に そびえたり

二、このよき里の まなびやの

輝く窓に ふみ読みて

さきがけはげむ 錬成の

至誠 敬愛 勤儉に

心あわせて 進むとき





年月	沿革	代	歴代校長				
明治	6. 6	6月13日、真坂高畑の仮校舎にて「真坂小学校」開設（児童数五十余名）					
	8. 8	真坂高橋、旧郷倉跡に校舎建築					
	15. 11	真坂中等小学校となる。					
	17. 4	裁縫科を新設	初	佐藤 養吉 (16.7 ~ 25.9)			
	19. 12	「真坂尋常小学校」となる。					
	20. 4	高等科・尋常科併置の小学校となる。					
	22. 4	「一迫尋常小学校」となる。柳目尋常小学校は一迫尋常小学校柳目分教場、輝井分教場は真坂分教場とし、南沢分教場とともに一迫尋常小学校所管となる。児童数 353 人（男 291 人、女 62 人）					
	25. 6	一迫尋常小学校を「下真坂尋常小学校」と改称した。真坂・柳目両分教場を独立の小学校とし、「上真坂尋常小学校」、「柳目尋常小学校」と改称する。		2	菅原 通 (25.11 ~ 26.8)		
	26. 4	下真坂尋常小学校から「一迫尋常小学校」と改称		3	白石 格 (27.11 ~ 3.12)		
	27. 3	上真坂尋常小学校を「真坂尋常小学校」と改称					
	31. 3	一迫尋常小学校の校舎落成					
	32. 9	真坂尋常小学校の校舎落成					
	36. 3	柳目尋常小学校の校舎落成		4	永山 武春 (3.12 ~ 4.5)		
	大正	3. 3	真坂・柳目尋常小学校を廃し、真坂・柳目・南沢の3分教場とする。南沢分教場を改築				
5. 10		一迫尋常小学校校庭拡張（2反7畝15歩）					
10. 3	一迫尋常小学校校庭拡張（1反2畝25歩）		7			小川 真清 (9.10 ~ 12.11)	
11. 4	西校舎増築。雨天体操場落成		8			高島文之助 (12.11 ~ 15.6)	
12. 4	一迫町制を布く。						
13. 4	「一迫町立一迫実科高等女学校」創立		9			阿部倉之助 (15.6 ~ 9.8)	
昭和	5.	校庭拡張（5反6畝5歩）、南校舎10教室増築					
	10. 8	「一迫青年学校」創立				10	狩野 信作 (9.8 ~ 13.6)
	16. 4	一迫尋常高等小学校を「一迫国民学校」と改称、義務年限を延長して尋常科6年、高等科2年の8年制とする。				11	菅原 留治 (13.6 ~ 16.5)
		12			曾我喜治郎 (16.5 ~ 20.3)		
	22. 4	新学制により「一迫小学校」と改称、6・3制の実施となる。父母教師会発足（24学級、1,326名）		13	中條 務 (20.3 ~ 22.4)		
		14			千葉 源太 (22.4 ~ 24.9)		
	25. 9	真坂分校増築		15	松田 良太郎 (24.9 ~ 32.3)		
	26. 6	真坂分校校庭拡張					
	10	柳目分校校庭拡張		16	菅原 博 (32.4 ~ 37.3)		
	27. 11	一迫町教育委員会発足					
28. 9	南沢分校落成		17	村山 通 (37.3 ~ 43.3)			
30. 7	県指定「習字教育研究会」開催						
10	県指定「分校教育研究会」開催		16	菅原 博 (32.4 ~ 37.3)			
36. 6	特殊学級設置						
9	鼓笛隊発足		17	村山 通 (37.3 ~ 43.3)			
37. 11	県指定「分校教育研究会」開催（柳目分校）						
38. 4	真坂、柳目、南沢分校が分教室取扱いとなる。		16	菅原 博 (32.4 ~ 37.3)			
39. 10	県指定「特殊教育研究会」開催						
40. 3	分校閉校式、新校舎を真坂字山王30番地に完成（平成7年3月解体）		17	村山 通 (37.3 ~ 43.3)			
	4	新築校舎に本校並びに柳目、真坂、南沢、大川口分校より移転（24学級、987名） 新校章制定（デザイン；菊地義彦氏）					





年月	沿革	代	歴代校長・園長
昭和	40. 4 一迫町教育委員会において町内4ヶ所に幼児学級開設(3~5日制)	17	村山 通 (37.3 ~ 43.3)
	12 体育館新築落成		
	41. 9 県教委、郡教研指定の「家庭科教育研究会」開催		
	42. 1 給食センターによる完全給食開始		
	10 県指定「緑化教育研究会」開催		
	43. 4 一迫町立幼稚園(本園、金田、長崎、姫松分園)として許可発足(全日制) 一迫小学校に併設	18	菅原 義男(兼)
	10 仙北地区「学校給食研究会」開催	(初)	(43.4 ~ 45.3)
	46. 7 自転車乗りコンクール県大会第1位、東北大会第2位	19	千葉平八郎(兼)
	47. 1 学校給食優良校として県表彰を受ける。	(2)	(45.4 ~ 48.3)
	7 交通教室設置、自転車乗り県大会第3位		
	10 栗原郡幼稚園教育研究会研修会開催		
	48. 6 プール落成、自転車乗りコンクール東北大会第3位	20	菅原 繁(兼)
	9 県指定「書写教育研究会」開催	(3)	(48.4 ~ 51.3)
	11 音楽教育振興会より表彰される		
	49. 6 青少年赤十字に加盟登録、交通少年団結成(15学級、476名)		
	51. 10 全国優良PTAとして、文部大臣表彰を受ける。	21	佐藤 一夫(兼)
	11 学校安全優良校として、文部大臣表彰を受ける。	(4)	(51.4 ~ 57.3)
	52. 4 学校警備が機械警備になる。		
	53. 6 宮城県沖地震 6月12日 午後5時14分発生		
	10 文部省指定「道徳教育協同推進校」として、町内5校で公開		
54. 10 栗原郡幼稚園教育研究会公開保育			
56. 10 日赤宮城県支部長より青少年赤十字活動を認められ、表彰を受ける			
57. 10 栗原郡幼稚園教育研究会公開保育	22	菅原 傳(兼)	
58. 9 宮城県PTA連合会長より優良PTAとして表彰を受ける	(5)	(57.4 ~ 61.3)	
59. 10 宮城県学校花壇コンクールにおいて優秀賞受賞、併せて読売賞を受ける			
60. 11 宮城県学校花壇コンクールにおいて優秀賞受賞(15学級、475名)			
61. 5 県教委指定教育研究グループ奨励事業	23	若生 高司(兼)	
62. 2 校木「赤松」制定、植樹	(6)	(61.4 ~ 3.3)	
63. 7 みどりの少年団結成			
平成	元. 2 「あいさつ運動」啓発塔設置		
	4 金管バンド部結成		
	12 ベルマーク収集運動開始		
	2. 4 学校農園開設		
	11 学校保健統計調査優良校として文部大臣表彰を受ける		
	3. 4 県教委より「生徒指導推進モデル地区」指定を受ける	24	山川隆太郎(兼)
	県社会福祉協議会より「ボランティア活動普及事業協力校」の指定を受ける	(7)	(3.4 ~ 6.3)
	樹木観察園設置		
	10 県教委指定学習指導「社会科」及び文部省指定「生活科実施推進協力校」公開研究会開催		
	栗原郡幼稚園教育研究会公開保育		
	4. 2 児童会の歌 制定		
	5. 2 文部省指定「学校保健統計調査実施校」(平成5年度)		
	5 独立園舎建築検証委員会発足・独立園として認可発足		
	6. 4 築館町との教諭人事交流(2年)	25	成瀬 惇(兼)
	11 全国学校合奏コンクール東北地方コンクール「優良賞」	(8)	(6.4 ~ 8.3)
	全日本健康推進学校 中規模校 全国優秀賞「すこやか賞」を受賞する		
あすなろ幼年消防クラブ結成			
12 新校舎への移転作業(22日、23日、24日)			
新園舎落成			
7. 1 新校舎にて授業開始			
3 新校舎外溝工事、プール建設工事の完成			
4 ことばの教室2学級開設			
8 新園舎外溝工事			
10 校庭整備工事完了、使用開始			
8. 3 新体育館竣工、使用開始 旧体育館・旧プール解体工事(15学級、352名)			



年月	沿 革	代	歴代校長・園長
平成	8. 7 郡水泳大会会場校、男子優勝、女子準優勝、男女総合優勝 (13 学級、329 名) 11 一迫幼稚園の歌制定	26 (9)	千葉 勇寿 (兼) (8. 4 ~ 10. 3)
	9. 3 遊戯室、職員室に「一迫幼稚園の歌」掲額 4 ことばの教室が通級となる。 5 宮城県知事より、学校環境整備森づくり部門で感謝状を受ける。 6 小学校校舎・幼稚園舎が優良施設として文部大臣奨励賞受賞 9 東北管区警察局長及び安全協会長より交通安全優良校として表彰される。 歯科保健活動優秀園として表彰される 園庭に倉庫設置		
	10. 1 校舎外壁再塗装工事完了 6 「宮城みどりの祭典」式典会場 (12 学級、308 名) 8 全日本吹奏楽コンクール県大会「金賞」(初受賞) 9 歯科保健活動優秀園として表彰される	27 (10)	阿部 徹 (兼) (10. 4 ~ 12. 3)
	11. 1 アンサンブルコンテスト県大会、2 チームとも「金賞」 1 「公共建築百選」顕彰状伝達式 3 幼稚園預かり保育のために北資料室改修工事 4 「あおぞら農園」を特養ホーム『山王』敷地内に移転 (11 学級、287 名) 1 一迫、長崎、姫松の3園が統合し一迫町立一迫幼稚園として発足・2年保育、預かり保育の実施 文 部省預かり保育推進地域として町が指定を受け、協力園となる (2年制) 園児送迎バスの運行実施 9 宮城県 P T A 研究大会栗原大会会場。参加者 1, 7 0 0 名。 11 県少年婦人防火委員会より表彰される 園舎北側に倉庫設置、園庭に鉄棒設置 12 職員室増築		
	12. 2 アンサンブルコンテスト東北大会初出場「金賞」 3 県教育委員会指定『心をはぐくむ教育活動推進校』実践発表会 4 花山村と教諭人事交流 (2 年間) 9 全日本吹奏楽コンクール東北大会初出場「金賞」(10 学級、271 名) 10 園庭植栽工事 12 校庭全面改修工事着工	28	菅原 文悦 (12. 4 ~ 14. 3)
	13. 2 アンサンブルコンテスト東北大会 2 年連続出場「金賞」 9 全日本吹奏楽コンクール東北大会 2 年連続出場「金賞」(9 学級、244 名) 歯科保健活動優秀園として表彰される 10 第 5 6 回国民体育大会秋季大会ホッケー競技開始式 ブラスバンド及び 5、6 年生式典参加		
	14. 2 アンサンブルコンテスト東北大会 3 年連続出場「金賞」 4 文部科学省「学力向上フロンティアスクール」指定 (3 か年) (8 学級、227 名) 全国国公立幼稚園長会特別事業ブロック委員 (2 年間) 9 宮城県総合防災訓練参加 NHKBS2 「おーいニッポン」人文字生中継 全日本吹奏楽コンクール東北大会 3 年連続出場「金賞」 10 第 2 回東日本学校吹奏楽大会「金賞」	29 (12)	遠藤 守 (兼) (14. 4 ~ 16. 3)
	15. 2 アンサンブルコンテスト東北大会 4 年連続出場「金賞」 4 栗駒町から教諭派遣される (1 年間) 9 全日本吹奏楽コンクール東北大会 4 年連続出場「金賞」「特別賞」 10 第 3 回東日本学校吹奏楽大会「フェスティバル大賞」(7 学級、217 名) 文部科学省「学力向上フロンティア事業」指定公開研究会 2 アンサンブルコンテスト東北大会 5 年連続出場「金賞」		
	16. 9 全日本吹奏楽コンクール東北大会 5 年連続出場「金賞」(8 学級、210 名) 10 第 4 回東日本学校吹奏楽大会「優秀賞」 11 文部科学省「学力向上フロンティア事業」指定公開研究会	30 (13)	亀井 芳光 (兼) (16. 4 ~ 18. 3)
	17. 4 「栗原市立一迫小学校」となる (8 学級、207 名) 栗原市立一迫幼稚園となる 情緒障害学級開設 宮城県教育委員会より「学習カルテの活用・引継等による小中学校 の学力向上等の調査委託」される (一迫中学校区) 学習システム整備モデル事業に指定される (平成 1 7 ~ 1 9 年度) 7 キッズシェフ in 一迫で三國清三の授業を受ける 10 宮城県国公立幼稚園教育研究会栗原大会・公開保育		





年月	沿革	代	歴代校長・園長
平成	18. 4 アンサンブルコンテスト東北大会出場「金賞」(8学級、207名) 栗原市PTA連合会事務局 園庭植栽	31 (14)	石川 孝泰(兼) (18.4 ~ 20.3)
	7 みどりの少年団全国大会(滋賀)に参加 10 「よい歯」の表彰		
	19. 9 「よい歯」の表彰(9学級、224名)	32 (15)	佐藤 達也(兼) (20.4 ~ 23.3)
	11 宮城県学校給食研究大会栗原大会第3学年「道徳」授業(於 志波姫小) 宮城県PTA連合会 学校表彰 県教委指定 地域の教育力向上支援事業 「一迫小学校ミニ公開授業研究会」開催		
	20. 3 園舎北側に倉庫2棟設置(計3棟となる)		
	4 宮城県教育委員会より学力向上サポートプログラム事業校に指定される。(10学級、228名) 預り保育園舎内で実施 園庭植栽		
	6 岩手・宮城内陸地震 6月14日 午前8時43分発生		
	9 第25回宮城県小・中学校書写教育研究大会栗原大会の会場校となり、「2年生」「5年生」が授業提供をする。		
	12 緊急時連絡用メールの運用開始		
	21. 2 ノーチャイム制の導入		
	7 NHK子ども音楽クラブコンサート(11学級、231名)		
	11 新型インフルエンザによる臨時休業 1月24日~27日 新型インフルエンザによる学級閉鎖が相次ぐ		
	22. 6 校舎正門横木取り替え(11学級、230名)		
	6 緊急時における児童引き渡し訓練 遊戯室カーテン取付		
	7 ブラスバンド「原信夫とシャープス&フラッツ」との合同演奏会 園舎入口バリケード修繕・トイレアンダーハッチ修繕		
	10 県PTA連合会より優良PTA表彰 校庭固定遊具修理		
	23. 2 アウトリーチコンサート(3・4年)		
	3 東北地方太平洋沖地震 3月11日 午後2時46分発生 栗原市震度7 児童を校庭に避難させ、保護者に引き渡す。 被害のため、卒業式と修了式を3月24日に変更し、実施する。	33	阿部 仁 (23.4 ~ 25.3)
	4 東北地方太平洋沖地震最大余震 4月7日 午後11時32分発生 栗原市震度6強 被害のため、1学期始業式を4月14日、入学式を4月15日に変更し、実施する。(11学級、236名) 栗原市幼稚園教育研究会事務局		
	8 放射能数値定期測定開始		
	9 修学旅行を福島県会津若松から岩手県盛岡市方面に変更し、実施する		
	9~10 校舎、体育館修復工事開始		
	11 宮城教育大学留学生との交流会(3、5年生) 栗原市社会福祉協議会より表彰		
	24. 1 第52回交通安全国民運動中央大会 交通安全教育活動推進優良校として表彰		
	2 エアコン設置工事開始 職員室・低学年ホール雨漏り対応(屋根にシートをかける)		
4 栗原市幼稚園教育研究会事務局 学校保健統計調査実施校指定			
25. 3 一迫小学校閉校記念式典挙行(2日) (12学級、239名)	17		
3 一迫地区小学校4校再編統合に伴う物品等の搬入作業(26日) 一迫小学校閉校・一迫幼稚園閉園			

※「沿革」の緑文字は幼稚園の沿革

※「歴代校長・園長」の緑文字は専任幼稚園長、(兼)は兼任



学校の概要

学区について

栗原市西部一迫の東南部にあり、大崎市に隣接する丘陵地帯と、平坦地で公共施設や商店街が並ぶ中央部、その周辺の田園地帯からなっている。学区の東西を国道398号線が走り、学区区分は行政区と同じ13地区である。

学校は、遠くは奥羽山脈や栗駒山を、近くは姫松館を仰ぎ、迫川がゆったりと東方に流れる風光明媚な環境にある。自然環境も教育環境に組み入れて設計された、全国的にも類を見ない壮大なスケールの施設である。

校舎は一迫の歴史と伝統を踏まえ、かつ未来を展望しようと建設された、『縄文式集落をイメージした、夢いっぱいの木造分棟式校舎』で、平成10年度に建設大臣から、「建設省設立50周年記念、公共建築百選」に小学校として全国でただ1校顕彰されている。

児童はこの『感性が宿り 躍動する学び舎』で、多様な学習活動を展開している。平成4年結成のブラスバンド（金管バンド）部は、全日本吹奏楽コンクール宮城県大会に連続出場するなど、学校内外での活躍が光っている。



学区略図



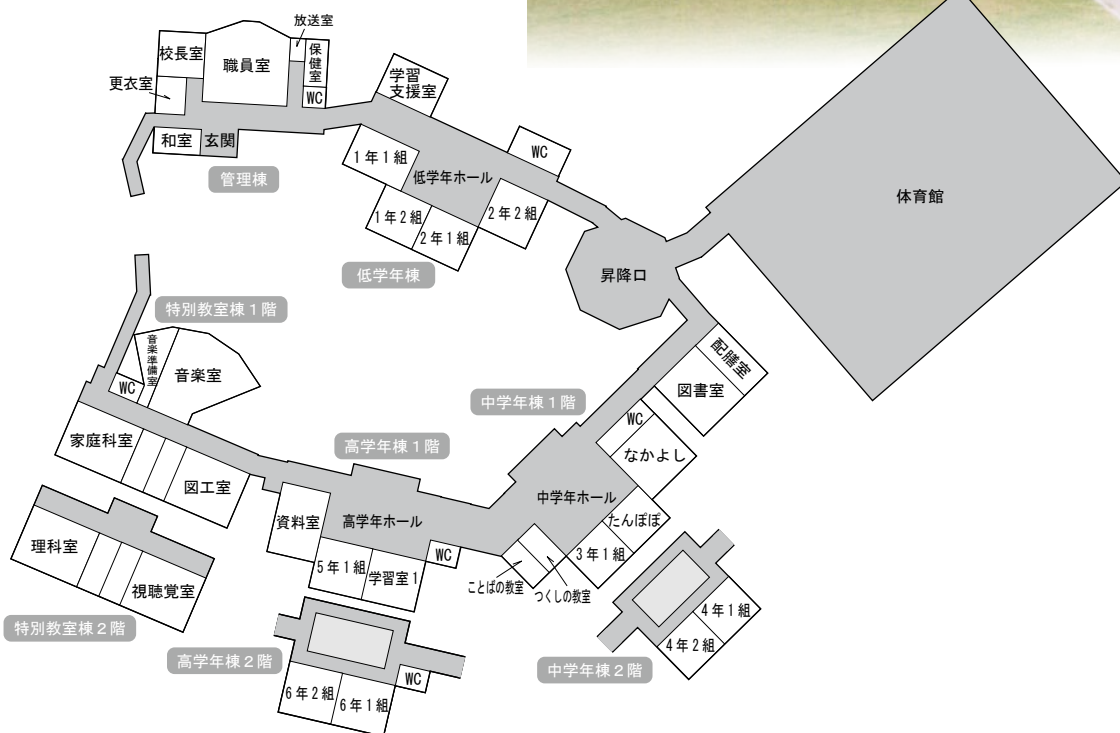


校舎のようす

学校平面図



校舎配置図





歴代校長

初代	明治16年7月～明治25年9月	佐藤 養吉	校長
第2代	明治25年11月～明治26年8月	菅原 通	校長
第3代	明治27年11月～大正3年12月	白石 格	校長
第4代	大正3年12月～大正4年5月	永山 武春	校長
第5代	大正4年8月～大正6年5月	庄司宅三郎	校長
第6代	大正6年5月～大正9年10月	和久 安行	校長
第7代	大正9年10月～大正12年11月	小川 真清	校長
第8代	大正12年11月～大正15年6月	高島文之助	校長
第9代	大正15年6月～昭和9年8月	阿部倉之助	校長
第10代	昭和9年8月～昭和13年6月	狩野 信作	校長
第11代	昭和13年6月～昭和16年5月	菅原 留治	校長
第12代	昭和16年5月～昭和20年3月	曾我喜治郎	校長
第13代	昭和20年3月～昭和22年4月	中條 務	校長
第14代	昭和22年4月～昭和24年9月	千葉 源太	校長
第15代	昭和24年9月～昭和32年3月	松田良太郎	校長
第16代	昭和32年度～昭和36年度	菅原 博	校長
第17代	昭和37年度～昭和42年度	村山 通	校長





- 第18代 昭和43年度～昭和44年度 菅原 義男 校長
- 第19代 昭和45年度～昭和47年度 千葉平八郎 校長
- 第20代 昭和48年度～昭和50年度 菅原 繁 校長
- 第21代 昭和51年度～昭和56年度 佐藤 一夫 校長
- 第22代 昭和57年度～昭和60年度 菅原 傳 校長
- 第23代 昭和61年度～平成2年度 若生 高司 校長
- 第24代 平成3年度～平成5年度 山川隆太郎 校長
- 第25代 平成6年度～平成7年度 成瀬 惇 校長
- 第26代 平成8年度～平成9年度 千葉 勇寿 校長
- 第27代 平成10年度～平成11年度 阿部 徹 校長
- 第28代 平成12年度～平成13年度 菅原 文悦 校長
- 第29代 平成14年度～平成15年度 遠藤 守 校長
- 第30代 平成16年度～平成17年度 亀井 芳光 校長
- 第31代 平成18年度～平成19年度 石川 孝泰 校長
- 第32代 平成20年度～平成22年度 佐藤 達也 校長
- 第33代 平成23年度～平成24年度 阿部 仁 校長





歴代PTA会長



初代	昭和34年度～昭和40年度	遊佐辰男	会長
第2代	昭和41年度～昭和44年度	松田 巽	会長
第3代	昭和45年度～昭和48年度	狩野 修	会長
第4代	昭和49年度～昭和51年度	鹿野 昌司	会長
第5代	昭和52年度～昭和55年度	佐藤 昇	会長
第6代	昭和56年度～昭和61年度	野澤 充	会長
第7代	昭和62年度～昭和63年度	高橋 康太	会長
第8代	平成元年度～平成3年度	大内 剛紀	会長
第9代	平成4年度～平成5年度	狩野 和義	会長
第10代	平成6年度～平成7年度	川村 幸雄	会長
第11代	平成8年度	黒澤 光啓	会長
第12代	平成9年度	及川 広司	会長
第13代	平成10年度～平成12年度	佐藤 俊郎	会長
第14代	平成13年度～平成14年度	尾形 一臣	会長
第15代	平成15年度～平成16年度	曾根 一徳	会長
第16代	平成17年度	三浦 一也	会長
第17代	平成18年度～平成19年度	狩野 康	会長
第18代	平成20年度	三浦 良治	会長
第19代	平成21年度	曾根 一也	会長
第20代	平成22年度～平成24年度	菅原 功	会長





～昭和40年3月



昭和40年4月～
平成6年12月



平成7年1月
から現在





写真で綴る思い出



ひょうたん池



昭和33年 6年1組 卒業生



昭和36年 5年4組 修学旅行(松島)



昭和36年 6年3組 修学旅行(県庁)



昭和38年 6年1組 卒業生



昭和40年 屋上でのPTA総会



昭和42年 給食開始



昭和46年 入学式



昭和46年 野外炊飯（川内河原）



昭和47年 親子写生会



昭和48年 プール落成式典



昭和48年 プール開き



昭和48年 書写教育公開研究会



昭和49年 親子旅行（県民の森）



昭和51年 自転車運転免許テスト



昭和52年 運動会 鼓笛パレード



昭和53年 宮城県沖地震の被害



昭和53年 インリーダー講習会



昭和56年 郷土史クラブ



昭和60年 みこし祭り



昭和63年 みどりの少年団交流会



昭和63年 学芸会



平成元年 親子花山キャンプ



平成3年 社会科公開研究会



平成3年 生活科公開研究会



平成6年 校舎お別れ式



昭和8年 郡水泳大会総合優勝



平成11年 郡陸上競技大会



平成14年 全日本吹奏楽コンクール東北大会



平成15年 収穫祭(餅つき)



平成19年 ホッケー交流大会





木の香漂う一迫小学校での2年間

第31代校長 石川 孝泰

私は平成18年4月から20年3月までの2年間、一迫小学校にお世話になりました。

当時は3年間の文科省指定「学力向上フロンティア事業」を終え、引き続き県教委委託「地域の教育力向上支援事業（一迫地区1中学校・4小学校）」研究校の一員として、多くの職員とともに児童・生徒の学力向上のために全力を挙げて取り組んでおりました。

伝統のブラスバンド活動や剣道・野球・バレーボール・ホッケーなどスポーツ少年団活動が盛んで、地域の支援・協力もあり、子どもたちの活力・意欲向上に多大な貢献をしていただいたことに感謝しております。

思い起こせば、一迫小学校（一迫幼稚園長を兼務）での2年間は、栗原市合併から2年目でまだ日も浅く、さらに私も隣の登米市からの転入で、先生方とともに新しい市が進める教育の在り方を確認するとともに模索していた年月でした。また、冒頭に述べた教育活動の課題とともに、特別支援教育にかかわる県教委指定「学習システム整備モデル事業」における支援員制度や特別支援室の運営、ことばの教室拠点校としての体制づくりなども課題として取り組まなければなりませんでした。施設面でも校舎の一部教室を幼稚園の預かり保育室として提供していたこと、近くの施設における1年生から3年生までの学童保育とのかかわりで、一迫総合支所教育総務課との連絡・調整も大きな課題でした。預かり保育室については、昼寝の時間など小学校の教育活動との関係から、配慮しなければならない点が数多くありました。それに関連して、非常勤職員の配置や幼稚園職員の勤務体制では課題が山積しており、幼稚園主任には大変なご苦勞をおかけしてしまいました。

広大な校地内の管理も、合併による予算や組織改編の関係から、学校としての対応が必要でした。特に除草・除雪・小破修理などについては教頭・教務・事務職員の手を借りたり、整備の面では他の職員や保護者にもかかわってもらったりする必要がありました。それでも校地外周辺で手が回らない面については「何とかならないか」という苦情もあり、勤務時間を超えて対応しなければならないことも幾度かありました。言うまでもなく市当局・支所教育総務課の皆さんには予算の面や人的な面で様々なご配慮を頂きました。

こうして振り返ってみますと、私の2年間は一迫小・幼稚園職員の努力と一致協力、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力があって成り立っていたものと思います。重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成25年度、姫松小・長崎小・金田小・一迫小学校が統合され、ひとつの小学校として新しい歩み始めるわけですが、それぞれの小学校の歴史や伝統、かかわってきた人々の思いを大切にしながら、子どもたちの未来につながる“よりよい学び舎づくり”を心から願っています。





「わが母校」 一迫小学校

第32代校長 佐藤 達也

平成23年3月29日東日本大震災の余震が続く中、離任式を開催していただき37年間の教員生活を終えることができました。

53年前一迫小学校の入学式で聞いた「校歌」を児童の皆さん、職員の皆さん、保護者の皆さんと一緒に歌い退職できる幸せをしみじみと感じ、3年間の思い出が頭の中を駆け巡り、自然と涙が頬を流れました。

暗唱と和算に挑戦

「考える楽しさ」と「やればできる」という自信をつけてもらおうと、毎朝7時から児童昇降口に立ち、詩や漢文の名句の暗唱に取り組みました。

「いろはうた」を始め、リズム感のある明るい詩を好んで多くの子供達が熱心に取り組んでくれました。子供達の素直さと真面目さに心を打たれ、昇降口前に立つのが楽しみになりました。私の思いをこれほどまでに素直に受けとめ、暗唱を続けてくれた子供達の心は、60歳になっても嬉しく可愛らしく、毎日が心にしみて涙の出る思いでした。

また、職員室前に並べた和算の問題にも熱心に挑戦し、目を輝かせて取り組む子供達の姿に私が学ぶことも多く「教育」とは何か、「教師の仕事」は何かを教えてくださいました。

実は3番まであった「校歌」

一迫小学校の校歌は2番で終わっています。ほとんどの小学校の校歌は3番まであります。調べてみますと昭和17年に校歌が制定された時には3番まであったそうです。

3番の歌詞が分かりましたので書きました。一迫小学校を卒業された皆さんの中には、校歌を3番まで歌われた方も大勢いらっしゃるのだと思うと感慨深いものがあります。

【一迫小学校校歌第3連（3番）歌詞】
み民（たみ）我らの幸（さち）に生き
栄（は）えあれ常（つね）に一迫
東垂（とうあ）の天地思いつつ
朝な夕なにたゆみなく
共に郷土の名をあげん

忘れられない始業式・入学式

共に郷土の名をあげん 一迫小学校に転任する2週間前に、入院して手術を行いました。始業式・入学式には体育館の側に車を止め、車椅子で式場に入りました。通路で見ていた高学年の皆さんが心配して「大丈夫ですか?」「痛くないですか?」と声をかけてくれた優しい心が忘れられません。一迫小学校に通勤でき幸せだなと心から思いました。

また、職員昇降口前の高さ10cm位の階段が登れず、はって職員玄関に入りました。

その後、「はって赴任された校長先生は、最初で最後です。」と言われました。6月から職場に復帰でき無事退職を迎えることができましたのも、校歌にあります「至誠」「敬愛」の一迫小学校の伝統が子供達、保護者、地域の皆様方に受け継がれ、私を包み込んでくれたお陰だと感謝の気持ちでいっぱいです。

伝統を受け継ぐ子供達

一迫小学校の良き伝統は高学年の皆さんが下学年のお世話をしっかり行い、結び付きが強いことです。運動会を始め諸行事を見せてもらいました。この伝統を基に4つの小学校がそれぞれの良さを積み上げ、新しい一迫小学校を創っていかれることを願っています。



古き良き時代かな。。。

大崎市立岩出山小学校

教頭 野澤 恵美

今も懐かしく思い出します。勤務していたのは、25年ほど前でした。一迫小学校は、私の勤務2校目で、この頃の一迫小学校は、今の山王史跡公園にあり校舎自体大変古い建物でした。各学年2～3学級で、全校児童も500人近くおり、敷地内には、一迫幼稚園もありました。

勤務して驚いたことは、その頃の創意の時間で『イナゴとり』があったことです。この頃まだ土曜日も学校で、一迫小学校では給食もありました。日曜日と月曜日の登校前に各地区でイナゴとりをしてから登校するというものでした。勤務して2・3年後だったと記憶していますが、この担当が私になり、大きな網に全校児童が捕ったイナゴを集め、業者に渡しましたが、網から飛び出すイナゴがいるかと思えば、何十キロというイナゴの量ですから、重さもさることながらイナゴのにおいが凄かったです。決して都会で育ったわけではないので、大抵のことにはびくともしませんが、このときばかりは参りました。しかし、イナゴの数も少なくなり、このイナゴとりはその後なくなりましたが、それくらい自然豊かな地でした。

校舎の前を流れている川で魚取りもしました。生活科が入り、子どもたちと川で遊んだこともありましたが、干し柿作りをして失敗したこと、校庭で土器を焼いたこと、校木「赤松」を植樹したこと、ブラバンを創設したことなどあったという間の7年間でした。あの頃の子どもたちが、今一迫小学校の保護者としてPTA活動を盛り上げていることと思います。

統合され新しい一迫小学校になることと思いますが、地域・保護者の方々とともにこれからの時代をたくましく生きる子どもたちの環境づくりに何かお手伝いできれば幸いです。この原稿を書くにあたり、あの頃たくさん学んだ事を改めて思い返す機会を与えていただきましたことに感謝申し上げます。本当に、古き良き時代でした。

**旧校舎から新校舎へ**

栗原市立津久毛小学校

教諭 石川恵久子

一迫小学校には平成5年から12年までの8年間お世話になりました。私にとって初めての栗原での勤務でした。当時は400人以上児童がいて、幼稚園が西側の校舎に併設されていました。平成3年の社会科公開研究会を終えた後で、それまでの研究で積み重ねられた内容は大変勉強になりました。学校の活動としては、8色6班の縦割り活動が始まり、また6年生のPTA行事で行われたダイナミックな野焼きに驚いたのを覚えています。

赴任から1年9ヶ月の平成6年12月に、現在の校舎に引っ越ししました。児童は図書の本を数冊ずつ運び、PTAの方には2日間お手伝いをいただいたの引っ越し作業でした。何をどのように運んだかはっきりしませんが、その日の職員での忘年会は、みんな疲れて宴会にならなかったのだけは覚えています。

平成7年1月から縄文時代の集落をイメージした分棟式の校舎での生活が始まりました。校舎には、机やイス、オルガン、テレビ、教卓などみな新しいものばかりで、恵まれた環境で学べる子どもたちは幸せでした。楕円形の配置になっている校舎は、どこから見てもそれぞれの学年部棟が見渡せ、休み時間には中庭で楽しく遊ぶ子どもたちの姿が多く見られました。特色ある校舎には、県内外から多くの視察がありました。まだ校庭が使用できず、体育館も完成していなかったもので、体育の時間はこれまでの体育館に新校舎から通いました。7月の七夕学芸会では、日差しの明るさとスポットライトがとても熱く感じたのを覚えています。10月に校庭が完成し、「新校舎落成記念大運動会」として盛大に行われました。待ちに待った運動会でしたので、例年以上に張り切って演技する子どもたちの姿が今でも心に残っています。

8年間の勤務の中で書ききれないほどたくさんの思い出があります。伝統と思い出がたくさん詰まった旧校舎の一迫小学校、そして分棟式の特色ある新校舎の一迫小学校、その双方に勤務できたことを幸せに思います。私にとって大きな財産となりました。



一迫小学校との「出会い」

栗原市立萩野小学校

教諭 小野寺吉郎

一迫小に赴任しての第一印象は「大きい」でした。校庭の広さだけでなく、縄文時代の集落をイメージした造りで、「公共建築百選」に小学校として全国で1校だけ顕彰された校舎もです。この一迫小での5年間で、他校では経験できないことを経験することができました。

まずは、「学力向上フロンティア」事業（3年間）の指定を受け、2年連続の公開研究会を中心にした取組です。公開研究会での国語や算数の授業だけでなく、学級をもたない立場での仕事も初めてのことであったので、たくさんのことを学ぶことができました。参観者のお弁当や駐車場の手配で、広い校舎を走り回ったことも思い出の1つです。

次に、みどりの少年団全国大会に参加したことです。その大会は、滋賀県の琵琶湖周辺の施設や自然の中で2泊3日の日程で行われました。引率した2名の児童とともにいろいろな体験をしたことだけでなく、滋賀県との往復の最中に行ったトランプ遊びも忘れられません。私が一迫小に勤務している時に、県代表の順番が回ってきたのが幸運でした。

最後は、ブラスバンドに関することです。その活躍のおかげで、青森山田高校に連れて行ってもらいましたし、何と言っても、夕方、コンクールで演奏する曲をバックミュージックに職員室で仕事することが、とても心地よかったです。特に、1年目の「ドラゴンの年」が心に残っています。ただ1つだけ残念だったことがあります。それは、一迫商業高校が甲子園に出場した時、ブラスバンドと一緒に行くことができたのに、年度末の仕事の都合で行けなかったことです。あのようなチャンスは二度とないでしょう。

これらは、すべて「一迫小」との貴重な「出会い」のおかげでした。



一迫小学校閉校に寄せて

栗原市立一迫小学校

元教諭 五十嵐安子

一迫小学校に平成21・22年度の2年間お世話になりました。私にとって教員生活最後2年間であり、それだけに思い出深い2年間となりました。縄文式集落をイメージした木造の校舎と広々とした校庭。そこでのびのびと学ぶ子どもたちのさまざまな活動の姿をなつかしく思い出します。

5年生の子どもたちと志津川の「海洋青年の家」で2泊3日の宿泊学習を行いました。

この地は私が若いころ勤務した学区であり、最後にまた思い出の地で子どもたちと学習できる喜びと幸せを感じました。

宿泊は天気に恵まれ、野外炊飯やキャンプファイヤーなど計画通りの活動を実施することができました。海での活動も楽しみました。炎天下の中、グループごとにかだを作って掛け声をかけながらこいだり、バナナボートに乗ったり、銀ざけ養殖のいけすを見学したりと、海での活動を十二分に楽しみました。バナナボートでは、

乗る直前まで不安を口にしていた子がいて、ひそかに私も心配していましたが、戻ってきた時に「先生、また乗りたい！」と乗る前の不安はどこへやら。笑顔で話す様子に安心したことを思い出します。

しかし、子どもたちに楽しさを味わわせてくれたこの地は、もうありません。3月11日の大津波で全てが破壊されてしまいました。またいつの日か、子どもたちの笑顔が見られる地に復興してほしいと祈らずにはいられません。

来年からは「新生・一迫小学校」として新たな歴史がスタートします。一迫小学校に学ぶ子どもたちが、互いを思いやり、友達と仲良く学校生活を楽しんでくれることを願っております。



みこし祭り



温もりのある木造校舎

昭和32年度卒業 高橋 義昭

現在、当時のまま残っているのは職員室前にあった松の木だけ、一迫小学校柳目分校（現在は、東北デンソーの会社）に入学したのは昭和27年4月（22名の新生）、私が4年生の時は、分校の児童数は100名を超えていた。校舎は、東側に講堂、講堂から南側に渡り廊下があり便所、講堂の南脇には屋根のかかった掘り抜き井戸、北側には用務員さんのお宅、講堂から西に向かって、北側に廊下があり、南側に職員室と4つの教室が続いていた。職員室前には、始業や終業の時間を告げる鐘がつるしてあり、西端の教室2つは仕切りのある教室で、学芸会の時は、たくさんの人が集まるので仕切りをとって舞台をつくり学芸会をしていた。3年生の時、一時期複式になり、「3年生は校庭に出て九九を覚えてきなさい。」と言われ、校庭で九九の暗記をしたことがあった。休み時間になると走って講堂に行き、1台しかない卓球台の奪い合い、廊下を走ったり、泳いで行けない時期に川で泳いだりと、何度も職員室に立たされ、怒られた記憶だけが残っている。しかし、学校はとにかく楽しかった。

5年生から本校へ、柳目分校、上真坂分校、南沢分校と4校が集まり5年、6年の2年間を過ごした。本校は現在のふれあいホール周辺にあり、今は、当時の面影は何もない。明治の建物で東側の校舎正面にバルコニーがあり、私たちの教室はバルコニーに向かって左側の2階だった。50数名2学級、現在では考えられないすし詰め学級での2年間だった。小学校6年間は、温もりのある木造校舎で、勉強そっちのけで夢中になって遊んだ記憶だけが残っている。



母校よ永遠に

昭和40年度卒業 佐藤 俊郎

♪みのりゆたけき栗原の〜♪で始まる一迫小学校歌は、父母の代から三代にわたり歌い継いだ我が家の名曲の1つである。私は、今上天皇陛下ご夫妻がご成婚なさった昭和34年の春、輝井地区にあった上真坂分校に入学した。同級生は39名である。

当時は、本校の他3カ所に分校があった。勉強よりは、友と教室やグラウンドで遊んだり、近くの川や山に先生も一緒に出かけ、大自然を満喫する山学校で楽しんだ。現在、問題となっているいじめなど、全く記憶になく、実にのどかで平和な時代であった。

5年生で、今は「一迫ふれあいセンター」となった真坂の本校に移った。他の3カ所の分校出身者を交え、多感な少年が集まった。口さがない本校の同級生から真顔で「分校から来た奴らはなまっている」などとからかわれ悔しい思いをした。

1年の後、最初の卒業生となる山王圀の新校舎に移転した。連日校庭に残る無数とも思われた縄文土器の破片の収集除去作業に明け暮れた。ここで自分たちが、故郷の長い歴史の中にあるということを実感した。この校舎もやがて遺跡の保存ということで、現在の校舎に移転する。

この頃からPTA活動を積極的に行い、様々な行事も企画した。校舎の建設にあたり、行政や父母と熱い議論を繰り返した。その結果、今のような全国でも珍しい分棟式の木造校舎となった。

私の今の校舎での思い出は、平成11年に開催した県P大会である。この小さな町に県下一円から1700名もの父兄来賓を集め、全体会と5の分科会を父母教師会が中心となって企画運営した。多くの方々の支援の賜であり、絆となったこのことが縁となり今も親交がある。

学校は、建物ではなく、そこにいる子どもと先生と保護者そして地域が同じ目標をもち未来に向かう準備の場であると思う。新生一迫小学校の更なる発展に期待している。



思い出

昭和41年度卒業 大堀 靖

私が一迫小学校に入学したのは、昭和35年で、50年以上も前のことです。場所は現在の一迫ふれあいホールのある場所でした。

建物は明治初期に建築された、ものすごく古い木造の2階建てでした。冬の暖房は薪ストーブで、入学当時は上級生が薪ストーブに着火してくれました。着火時は教室が煙で充満し、数分間は窓を開けて煙を外に出してから授業の開始でした。寒かったのを覚えています。窓ガラスの隙間からの風も冷たかったです。かなり老朽化していました。

その当時は、学校給食もなく持参の弁当でした。薪ストーブの周りに弁当を置く鉄製の置き台があり、弁当を昼食まで温めていました。午前11時頃になると各弁当が温かくなって、おいしそうな匂いが昼食の近いのを教えてくれていたようでした。

交通も、自動車などは、個人で商売をしている人しか持っておらず、自転車も少ない時代でした。またテレビも、各家庭にはなかった事を覚えています。遊びは、川に行って魚取りやめんこ、ビー玉、忍者ごっこなど、今思えばなつかしい思い出です。

その後、昭和40年に待望の新校舎が完成し、真坂、柳目、南沢、大川口の各校より新しい友達と一緒に授業開始となりました。新校舎になってからの人数は24学級、987名となりました。成績の良い人、走りの速い人など、いろいろな人がいました。毎日の登校が楽しく感じられました。

そしてさらに30年後、今現在の場所に一迫小学校が新校舎として新築されました。数年前まで我が子が在学していました。環境の良い場所で、校舎も平屋の木造建てで地震に対する強度もあり、校庭も広い良い学校です。

平成25年4月に、一迫小学校が新しく誕生すると決まり、子どもたちも楽しみにしていることでしょう。

小学校時代の思い出から

昭和41年度卒業 衡田 枝美

昭和40年の春、私が5年生の4月に、木造の校舎から鉄筋コンクリートの新校舎に引っ越ししました。3階建てで、屋上とベランダがあり、木造の時のトイレは、「はーなーこさーん」が出るという噂があり、怖いものでしたが、何と水洗トイレです。どこの家にもまだ無い時代にですよ！めずらしかったです。この4月から、柳目・上真坂・南沢・大川口の分校からの移転で、1つの一迫小学校になりましたが、24学級に子どもが987名もいたそうです。現在は多くても2クラスなのに。1学年に4クラスもあることになりですね、すごいですね！新校章は、確か曲玉が2つ向かい合っていたように思いますが、菊地義彦先生のデザインだとは知りませんでした。体育館は少し遅れて建ちました。土の底に眠っていた縄文時代の土器等が発掘され、建設作業が遅れたと聞きました。休みの日には掘り残しを探し、すごく小さな矢じりを見つけて喜びました。12月に新体育館が落成したようです。今では「なつメロ」のスターが何人か来ました。水前寺清子や藤圭子、細川たかし等々、にぎやかでしたよ。そして立派な体育館でした。

42年の6年生の1月から給食が始まりました。その頃はコッペパンや麺類が主食で、ジャム、銀紙に包まれたマーガリン、ビニールで出来たこけしの頭をクルクル回し取りしぼったハチミツ、今はなつかし、紙の蓋にチクッと刺して取る牛乳も、もちろんおかずも何を食べてもおもしろかったですね。食器はブリキでした。

卒業記念には、石膏で作った恐竜を西側の花壇の所に建てました。3月には中学の制服のセーラー服を着て卒業式に出ました。少し大人になった気持ちでしたね。平成7年3月に、古代の遺跡があるため校舎解体。わずか2年間だけど、思い出一杯の学校でした。

新一迫小学校も負けないくらいの思い出を、たくさんつくってくださいね。





時の流れ・思い出多き母校

昭和44年度卒業 曾根 一也

“一迫小学校が閉校する”そう聞くと時の流れを感じます。私が入学した一迫小学校は、現在の老人福祉センターの所でした。入学式の日のことは今でも記憶に残っています。何処にあるか分かりませんが、母と撮った記念写真は鮮明に覚えています。

その学校に私は1年生の時だけ通い、2年生からは現在の山王史跡公園の場所に建てられた学校へ通いました。学校給食が始まったのは、その時からだと記憶しています。現在のようバラエティーに富んだメニューではありませんでした。私は、その給食がなかなか食べられず、いつも時間ギリギリまでかかって食べていました。ある時、給食のパンを食べずに窓から捨てました。その事をクラスの子に注意され、それからは頑張っって食べるようにしました。現在の私を知っている方々は、想像もつかないかもしれません。

また、花壇の草取りをしているとよく矢じりや土器のかけらが出てきて縄文時代の人々の暮らしを想像したものです。そんな思い出が一杯詰まった旧小学校でした。これも時代の流れで、現在の場所へ移転し、とても素晴らしい木造校舎が建ちました。この校舎には6年間娘がお世話になり、これもまた多くの思い出を残してくれました。入学から卒業まで、過ぎてしまえばあっという間でした。

でも、自分の小学校時代との違いを感じる事がありました。それは、子どもたちの人数が少な過ぎると、子どもたちの中で見えない序列が生まれたり、良い意味での競い合いがなくなったり、大勢で行うスポーツ競技ができなくなったりすることです。これは、一迫小学校だけではなく他校でも同じ状況です。ですから、教育委員会で学校再編という方針を掲げました。その流れに乗らないと子どもたちの教育環境がますます悪くなるように私も感じます。少し寂しい気もしますが、未来志向で新一迫小学校の発展を念じております。



一迫小学校の思い出

昭和46年度卒業 鹿野 昌孝

私が一迫小学校に入学したのは、昭和41年、現在の山王公園にあった真新しい校舎でした。体育館が新築され、2年生からは学校給食も完全実施され、当時としては新しい時代の始まりでした。

入学した時は2クラスでしたが、2年生からは3クラスになり、今よりも多くの同級生がいました。今のように送り迎えもなく、車の少ない時代なので、1年生から歩いて通学するのが当たり前でした。一迫総合支所前の山王橋がまだなかったため、清水から通うには、今のあやめの里の後ろの縄文橋付近にあった木を組んだ仮設の一本橋を渡って通いました。

夏になって水泳の季節は、まだプールがなかったため、学校前の長崎川を堰き止めて川で授業を行いました。水泳というより川に流されながら水に浮かんでいたこと、水に顔をつける授業では、先生に頭を水中にグッと押し込まれて苦しかったことなどを覚えています。

現在の校舎には、息子が通学した6年間、学校行事やPTA行事のたびにお世話になりました。

大変環境の良い木造の分棟方式の校舎ですが、息子の学年から1クラスとなり、空き教室が増えとても寂しい感じがしました。

来年からは、一迫地区の子どもたちが集まり、新しい一迫小学校になります。

また子どもたちが増え、にぎやかな校舎で、新しい歴史がつくられると思います。

今後の発展をお祈り申し上げます。





一迫小学校校舎

昭和46年度卒業 氏家 清二

自分が一迫小学校に入学したのが、昭和41年4月です。当時、鉄筋コンクリート3階建ての校舎は、宮城県内でも数が少なく、モデルスクール校舎として建築された一迫中学校と並び、一迫小学校は一迫町自慢の建物でした。

校舎の造りは、3階建ての東校舎と西校舎、両校舎を結ぶのが1階に昇降口のある2階建ての中校舎という造りでした。1階東側は、校長室・職員室・音楽室、西1階に保健室と理科室があり、少し空けて一迫幼稚園が入っていたと思います。2階・3階が一般教室という造りで、1年生の自分にとって廊下が長く、天井の高い大きな建物は、毎日が探検で、見る物聞く物が別世界でした。特に、水洗トイレは『東京』にしか無く、一迫にあるはずがないと思っていたので驚きでした。

一迫小学校の敷地・建物は、一迫町のビッグイベントの会場として使用されていました。校庭では、町民運動会・消防団の演習・青年団活動等、屋体は町商工会の歌謡ショー・女子プロレス・町の敬老会・文化祭・家庭バレーボール大会等に重宝され、大活躍でした。

現在の校舎は、全国公共建築百選に選ばれた建物で、一迫独自の縄文時代の集落をイメージし、低学年棟・中学年棟・高学年棟・特別棟が廊下でつながる木の温もり・木の優しさを前面に出し、梁が堂々と構えた造りになっています。

一迫に縁の深い俳優の菅原文太さんが、大変現在の校舎を気に入り、何度か足を運んだと聞いてしますし、NHKBS2『おーいニッポン』の番組でも全国に紹介されました。

一迫小学校在学中の皆さん、素晴らしい校舎で思い出をいっぱいつくってください。これから一迫小学校に入学される皆さん、楽しみにしてください。



全国公共建築百選

一迫小学校時代の思い出

昭和55年度卒業 狩野 昭博

私が卒業した30年前は今とは違い、時の流れがゆっくりだった気がします。本当にいい時代でした。小学生は勉強よりも遊び、外で体を使った遊びが主流で、子どもたちはみんな笑顔でした。

私は、入学した当時、体が弱く学校を休むことが多く、先生方にも迷惑をかけました。

2年生の遠足も休んでしまい、今でも悔しい思い出です。みんなが楽しそうに遠足の話をしているのがつらかったです。体育が苦手で、プールは特にいやでした。6年間で数回しかプールには入れず、いつも見学でつまりませんでした。4年生の時には宮城県沖地震が発生、当時もかなり老朽化が進んでいた小学校は、階段が落ちるなどして授業ができませんでした。夕方だったので児童が校舎に残っていなかったのが不幸中の幸い、授業中だったらと思うとゾッとします。5年生は新任の先生で、少しふざけすぎて先生に迷惑をかけたように思います。6年生の修学旅行は、友達と泊まれるのがうれしくて夜遅くまで起きて騒いだ記憶が残っています。夜中に先生に見つからないようにホテルの廊下を歩き回ったのを覚えています。高学年になると、友達が徐々に増えてきて学校に行くのが楽しくなってきました。休み時間にはドッジボールやパッチ（めんこ）、ビー玉、ゴム跳びなどもしました。昔遊びの最後の年代だったのかもしれませんが。

小学校時代のことを振り返ると、当時の友達の写真が浮かんできます。勉強のことや怒られたことより、遊んだ思い出しか浮かんできません。仲の良かった友達は、何をしているのだろう。笑顔で暮らしているだろうか。学んだ校舎はすでになく、一迫小学校は新しい小学校に生まれ変わるけれど、私たちの小学校時代の思い出は記憶から消えることはありません。いい思い出として……



プール開き



一迫小学校の存在

昭和57年度卒業 後藤 伸悟

昔は、小学校にも通えなかったという話を親たちに聞いたことがあります。私たちの時代は、義務教育という制度の意味も理解せず、当たり前のように楽しく過ごしてきたように思います。

さて、一迫小学校が‘閉校’になると聞いた時は、「えっ！」と思ったのですが、よく話を確認すると、一迫・金田・姫松・長崎が合併して、一迫小学校に集約されると聞き、心のどこかで安心したような気がします。

私にとっての一迫小学校という存在は、母校であるにもかかわらずあまり記憶に残っていないのが正直なところ。それだけ自分にとっては、何気なく過ごしてきた結果なんだと少し後悔しています。しかも、今の一迫小学校は、私の学んだ校舎ではなく、新しい校舎となっています。その校舎に、今、自分の子どもが元よく通って学んでいます。何度も今の校舎に足を運んでいるうちに、昔の校舎の姿が私の記憶の中からだんだん消えていっているように思えます。今は、親として学校に顔を出し、同級生に会い、昔の話で盛り上がることもあります。そういった時は、記憶が戻り、楽しい一時を過ごせます。

これから始まる一迫小学校の新しい歴史をつくっていく子どもたちに、一迫小学校とは、大人になった時に自分にとってすごく大切な時間を過ごした時だったと言えるようになってほしいです。

時代の流れという言葉がありますが、自分の記憶は、時代の流れに流されることなく、心に残っていると思います。しかも、一迫小学校という名前が残るということは、なぜかすごく安心したような気がしました。

最後に、これまでの一迫小学校の歴史に、ご苦労様とねぎらい、また新しく始まる一迫小学校の歴史を、これから成長していく自分の子どもたちと共に、大きな期待と夢をもって見守っていきたいと思っています。

思い出の旧校舎

平成4年度卒業 菅原 琢哉

『新生・一迫小学校』が誕生します。感慨深いものがあります。一迫小学校としては校舎等をそのまま使っていくため、閉校という感覚はあまり湧かないのかもしれませんが、140年という歴史に幕を下ろすという節目であることは、少し寂しい気持ちも覚えます。

私が一迫小学校に在学していたのは、今の校舎の前の旧校舎でした。現在古い校舎は取り壊され、山王団遺跡の一部・公園として整備されています。私の中では、教室や体育館・プール・校庭・校木あかまつ等、どこにあったか鮮明に覚えています。今でも長崎川沿いの堤防脇に生えている木々の間をくぐると、旧校舎の面影を思い出します。

当時、春ともなれば校舎西側の『青空農園』では、種まきをしました。『自転車練習コース』では、4年生になるとヘルメットをかぶり、警察の方から指導を受けました。

夏、プールやラジオ体操のハンコを溜めるため通い詰めました。山王団遺跡の竪穴式住居付近で、縄文式土器を作る合宿もありました。

秋、『青空農園』では収穫期を迎え収穫祭があり、みんなで実りの秋を楽しみました。

冬、各教室に石油ストーブが入り、テラスから突き出た煙突からは煙が上がりました。毎年ストーブの上にはやかんや大きなたらいが置かれ、湯が沸いていて、それに給食の牛乳ビンを入れ、温めて飲んでいました。

現在は、当時の校舎はなく新しい校舎となっています。自分が親となり、校舎に入ってみると、木の温もりがあり、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。体育館には、理念である『かしこく・やさしく・たくましく』が掲げてありました。それは、私が学んでいた頃と変わっていませんでした。今後は一人の親として、理念を次の世代へと引き継いでいけるよう、『新生・一迫小学校』の発展に協力していければと思います。



自転車検定



小学校の時の思い出

平成4年度卒業 松田 吉広

気が付けば私が小学校を卒業して、20年もの月日が流れていました。

今思い返すと、家族・諸先生方そして友人たちに多大なご迷惑をお掛けしたものと恥ずかしさを覚えます。

日ごろから落ち着きがなく自己中心的であった私は、授業中ともなれば騒ぐ騒ぐの悪ガキで、先生に注意されるのは当たり前でした。4年生のときにはあまりのうるささのため、先生に机の脇に立たされました。それでも収まらず、次に教室の後ろに立たされ、終いには「廊下に立っていなさい！」と、まるで漫画のような指導を受けたこともありました。

そんな私が楽しみで仕方なかったのは、“休み時間”でした。チャイムと同時に校庭に駆け出し、貴重な時間を友人と楽しんでいました。サッカー・ドッジボール・Sケン等みんなで遊ぶことも好きだったのですが、低・中学年の時は、仲の良い友達と学校の敷地を出て探検したことを覚えています。体育館の脇を抜けて近くにある給食センターの中に忍び込んで、大人に見つからないように覗き見してスリルを楽しんだり、仕切りの木を抜けて山王公園へ行っては、黄金色の芝生で寝転んだり走り回ったりしました。すると、あの広い空間が私たちだけのものになった気がして嬉しくてたまりませんでした。

山王公園から国道へ向け北へ進むと、梅雨の時期にはカタツムリがしがみつくとアジサイを脇目に木の橋を駆け上がり、できたばかりの丸太の形をした縄文橋へ向かいました。周囲に誰もいないのを確認してから大声を出すと、自分たちの声が何倍にも大きくなるのが何故か楽しくて、肩を組みながら笑ったりしていました。

私自身一迫を離れて久しいですが、今でも小学校時代の楽しかった記憶が鮮明に蘇ってきます。一迫小学校が新しく生まれ変わっても、子どもたちに楽しい思い出を与える学校であり続けてください。



田植え



運動会

小学校の思い出

平成7年度卒業 松田 義信

私が入学した当時は、まだ旧校舎でした。

床の所々にヒビが入っていて、とても古い校舎でした。その頃は、1学年で2～3クラスあり、児童数も今とは違って多かったです。

私が1年生の時は、少し緊張しながらも先生方や高学年の先輩方に優しくしてもらいながら、勉強や運動などに取り組みました。小学校初めての運動会では、徒競走で1位になって、とてもうれしかった思い出があります。

学芸会や遠足なども、とても印象的な思い出になり、今も鮮明に甦ってきます。

高学年になってからは、新校舎になり、それまでお世話になった校舎で学んだ事を生かし、心機一転取り組みました。中でも、縦割り班での活動が記憶に残っています。自分が高学年という事もあり、低学年の後輩の面倒を見ながらも、芋煮会や縦割りリレーでは先頭に立って頑張っていました。

他に印象に残る事と言えば、今の教頭先生、長谷川研先生です。実は、私が4年生の時の担任の先生でした。初めて見た時は、正直言って見た目からして恐かったです。しかし、授業などとても分かりやすく教えていただきました。そして、何事にもはっきりしていましたし、私たちの気持ちを良く理解してくださる素晴らしい先生でした。

色々な思い出はありますが、今回「新生・一迫小学校」になるということで、若干寂しい気持ちはありますが、我が子を含めてこれから通う子どもたちには、気持ちを切り替えて、今まで以上に勉強や運動に頑張っていってほしいと思っています。



色褪せぬ記憶

平成7年度卒業 三塚 絵美

卒業してから17年が経った今でも、小学校で過ごした6年間の思い出は色褪せることなく覚えています。思い出は数えられないほどありますが、その中でも小学校生活を振り返る上で、特に忘れられない思い出は2つあります。

1つ目は、一番没頭したであろう「金管バンド」の部活です。金管バンドは入学した時から憧れていた部活です。その一員になれた時の喜びは今でも忘れられません。放課後練習はもちろん、大会前には朝練習や昼練習など、時間さえあれば楽器を持っていたように思います。練習は辛いこともたくさんありましたが、学校で少し嫌なことや腑に落ちないことがあっても、楽器を吹いているうちに気持ちが落ち着くことが多く、私にとってはかけがえのないものでした。そして、この活動を通して最後までやり抜く精神や、仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。現在も後輩たちが各大会や催しの際に出演し頑張っている姿を見ると、とてもうれしく感じます。



音楽祭

2つ目は、旧校舎と現在の校舎で学んだことです。竪穴式住居が近くに見えた旧校舎と、木造の現在の校舎。転校もしていないのに2つの校舎で学べたことは、当時の私たちにとってとてもおかしく感じると共に、誇らしく感じるものでした。現在使われている校舎に初めて入った時は、木の香りが漂い何もかもが新鮮で、みんなで探検し先生の注意もそっちのけで走り回ったのを覚えています。そして、現在の体育館ができて第1回目の卒業生は私たちでした。新築の香りが漂う初々しい体育館で抱負を宣言し、滅多に経験できない貴重な体験をさせていただきました。

たくさんの思い出が詰まった小学校が今年度閉校することは残念ですが、来年から新しく生まれ変わり、より一層輝く学校になることを期待しています。

一迫小学校が教えてくれた、たくさんの事

平成11年度卒業 長柴 翔

私が一迫小学校を卒業してから、もう10年以上過ぎました。

一迫小学校での思い出は、数え切れないほどあります。勉強やクラブ活動、修学旅行や運動会など、どれも忘れる事の出来ない思い出となっています。中でも、私は、陸上大会、水泳大会、マラソン大会への取組を忘れることが出来ません。

暑い暑い夏のプールで、校長先生をはじめ先生方がストップウォッチを片手に大きな声で励ましてくれる中、真っ黒になりながら毎日何回も練習した水泳。泳ぐたびに記録がぐんぐん良くなっていきました。また、陸上の練習では、校庭でメガホンを手にして叫ぶ先生のタイムのラップを聞きながら、みんなと必死になって走りました。マラソン大会では、常に新記録を目指して挑戦し、記録が出ると思わず大きくジャンプして喜んだ事など、今でも鮮明に思い出されます。

決してあきらめない気持ち、頑張り抜く力を、様々な練習から学んできました。そんな中、私は先生から言われた「翔、天狗になったら終わりだぞ」という言葉を今も忘れてはいません。試合で勝った時でも自分を失うなという事を教えてくれる言葉だからです。

私は、この言葉をいつも胸に、走ることを今も続けています。自分自身のかけがえのない夢を今も追い続けています。



水泳記録会

一迫小学校がなくなってしまっても、一迫小学校が教えてくれたたくさんの事を忘れることなく、これからも自分の力で頑張っていきたいと思っています。そして、新生一迫小学校から、強い気持ちをもった粘り強い子どもたちが巣立っていくことを心から応援していきます。



閉校に寄せて

平成13年度卒業 長柴 加奈

私が、一迫小学校を卒業してから、10年が経とうとしています。

時が経つのは早いと感じるとともに、今年度をもって、私の通っていた一迫小学校が閉校してしまうことに寂しさを感じています。しかし、その一方で、平成25年度から「新生・一迫小学校」として新たなスタートを切るということで、期待に胸をふくらませています。

一迫小学校といえば「木造校舎」というほど有名になりました。この校舎はきれいで、小学校在学中はもちろんのこと、今でも小学校を見るたびに、一迫小学校の素晴らしさを改めて感じています。

小学校在学中の思い出は、思い返すと次々と頭の中に浮かんできます。

学芸会や運動会、自分たちで野菜を育て収穫したり、陸上大会や水泳大会で盛り上がったりと、本当にたくさんの思い出があります。

中でも私は、やはり運動会が一番の思い出です。学年ごとに一生懸命練習に取り組んだ組体操や阿波踊り。1年生から6年生まで、縦割りの班ごとに分かれ、学年関係なく応援し合ったり、縦割り班対抗のリレーでは、チーム一丸となってバトンをつないだり、とてもいい思い出になりました。

上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生のために必死に取り組みました。お互いがお互いのことを考え行動するということは、大人になった今でも欠かすことのできない大切な事だと思います。

有意義な小学校生活を送らせてくれた一迫小学校に、改めて感謝したいと思います。

そして、新たなスタートを切る「新生・一迫小学校」の力になれるよう、努力していきたいと思えます。





うんどうかい
リレーがたの
しかったですよ。

えんそくど
うぶつを
みましたよ。

ひらがな
あそびが
たのしかったですよ。

えんそくど
たまごひろい
がたのしかったですよ。

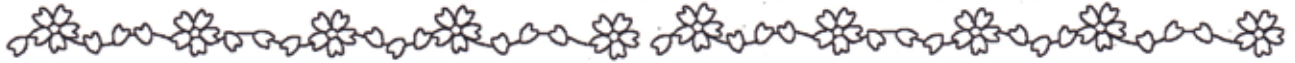
えんそくど
たまごひろい
がたのしかったですよ。

えんそくど
どうぶつ
をさがしましたよ。

マラソン
がんばった
よ。たのしかったですよ。

わたしは
うさぎを
さがしましたよ。

ありがとう 一迫小学校 1年1組



マラソン
でたくさん
がんばりましたよ。

ドラゴボール
がうまくな
ったよ。

マラソン
がんばったよ。

うんどうかい
でまけてや
りましたよ。たのしかったですよ。

マラソン
たくさん
しましたよ。

えんそくど
うさぎを
さがすことが
たのしかったですよ。

えんそくど
たまごひろ
いがたの
しかったですよ。

うんどうかい
でリレーを
しましたよ。

えんそくど
どうぶつを
さがすことが
たのしかったですよ。

えんそくど
ぶつをみて
おもしろく
たのしかったですよ。

えんそくど
どうぶつを
みたよ。すぐ
たのしかったですよ。

えんそく
で、おと
のたまごを
ひろいましたよ。





おんこ
いーいーいーいー
あそびも
ちーちー

マラソンで
しんきくをた
てうれしかったよ

えんそくで
くじやくあたり
うさぎをみてたの
しかったよ

えんそくで
たまごひき
うたよ

おんこ
いーいーいーいー
あそびも
ちーちー

きょうしつ
のぎんすうのべん
きうがたのし
がたよ

えんそくで
たまごひき
をしてたの
しかったよ

いんどうかい
たまりれをして
かきましたうれ
しかったよ

ありがとう 一迫小学校 1年2組



ぼくは
まらソンで
いーいーいー

ぼくは
ぎんすうのべん
きうがたのし
がたよ

ぼくは
いんどうかい
たまりれをして
かきましたうれ
しかったよ

きょうしつ
おんこ
いーいーいー

いんどう
かい
たまりれをして
かきましたうれ
しかったよ

プールで
いんどうかい
たまりれをして
かきましたうれ
しかったよ

いんどうかい
たまりれをして
かきましたうれ
しかったよ

みんな
いんどうかい
たまりれをして
かきましたうれ
しかったよ

いんどう
かい
たまりれをして
かきましたうれ
しかったよ

きょうしつ
おんこ
いーいーいー

ぼくは
いんどうかい
たまりれをして
かきましたうれ
しかったよ

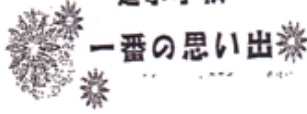




3年生

一迫小学校

一番の思い出



ぼくの思い出では
マラソン大会で7分
10位に入ることが
一番の思い出です。

ぼくは、3年生の時の
マラソン大会で7分
に入れたことが一番
の思い出です。

わたしが一番思い出に
このころは二年生の
お祭りで、お餅の
お餅を食べていたこと
です。

ぼくは、3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは2年生の時
足に付いて長いすべり
をしたことが一番の
思い出です。

ぼくは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは3年生の時
足に行き、お餅を
食べて、お餅の
思い出です。

わたしは2年生の時
遠足で、お餅を
食べたことが一番
の思い出です。

わたしの思い出は
3年生の水泳大会
で25m泳いだこ
とです。

ぼくの一番の思い出は
マラソン大会で6分
に入れたことです。

わたしは1年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

ぼくは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

ぼくは1年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは2年のこ
ろお餅を食べて、お餅
の思い出です。

ぼくは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは2年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

ぼくは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

ぼくは2年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしの思い出は、
1年生の時、お餅
の思い出です。

2年生の時、お餅
の思い出です。

ぼくの思い出はマラ
ソン大会で7分
に入れたことが
一番の思い出です。

わたしは2年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしが一番思い出に
このころは2年生の
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしの一番の思い出は
みんなで遠足に行
き、お餅を食べて、
お餅の思い出です。

わたしは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは1年のとき
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

2年生の時、マラ
ソン大会で7分
に入れたことが
一番の思い出です。

わたしは2年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしの一番の思い出
は遠足で、お餅を
食べて、お餅の
思い出です。

ぼくが3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは2年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。

わたしは3年生の時
お餅を食べて、お餅
の思い出です。





一迫小学校 4年1組



4年間で
一番の思い出

私はマラソン大会で、表彰が真赤になりました。ゴールの近くではみんながジューしていました。私は5位に入水してとてもうれしかったです。

私の4年間の一番の思い出は入学式です。くみ先生という先生がおどりを教えてくれてとてもうれしかったです。

私の一番の思い出は3年生の時のPTA行事でやったフリスビーをしたことが思い出です。式台中にお母さんとぶっかいて私があてられたことが一番思い出の中にのこっています。

私の一番の思い出は、1年の時学芸会でゴックをやったことが思い出です。

ぼくが一番の思い出は、2年生の時に行ったプラネタリウムです。星や宇宙の事がとても分かりやすく説明されていて楽しかったです。

今年のトッジボール大会でじゅんゆうしょうがでまたことが一番の思い出です。

私の思い出は、今年の遠足です。へんとうをみんなであっかたてたことが楽しかったです。

4年生になって、マラソン大会でおく大変だけれど、5位になった事が一番の思い出です。

ぼくが一番の思い出は、上の学年の人と遊んだことです。トッジボールやサッカーで遊びました。みんなが強かったです。

ぼくは一迫小学校に転校したことが一番の思い出です。

4年生の時マラソン大会で14位を取ったことがうれしかったです。

ぼくが一番の思い出は、マラソン大会のことです。マラソン大会の最後の最後までがんばって走ることができました。

一番の思い出は4年生の時マラソン大会です。1位になったことがとてもうれしかったです。

ぼくが一番の思い出は、休み時間トッジボールや、甲子球です。楽しかったです。これからはいやりたいたいです。

私の一番の思い出は遠足です。なんでもつと仙台科学館がいろいろ作れるので楽しいです。また行きたいです。

4年間で一番の思い出は水泳記録会です。25mクロールで泳げるようになったことがうれしかったです。

わたしの4年間の思い出は3年生の時学芸会です。理由は3年生の時にかぼちゃのけさをしたせりふもよく覚えるまで時間がかかりました。

私の一番の思い出は、体育の運動会です。三角バースが上手になってうれしかったです。

私はプールで10m泳げたことが一番の思い出です。

2年生のげまが楽しかったです。イサの仔でけうまんでさたのでうれしかったです。

私の一番の思い出は遠足です。仙台市科学館が一番の思い出です。こうすいをイりました。





一迫小学校 4年2組

4年間で一番の思い出



ブラスバンドで初めてコンクールに行くミネルが楽しかったです。

ぼくは、マラソン大会で4年間1位をとれたことが一番の思い出です。

4年生になって初めてのマラソンの練習で最後まで走らせて馬子先生にほめられたのが思い出です。

4年生の9月に親子で米粉ピザを作りました。それが思い出です。

わたしは、4年生のマラソン大会で15位だったのが、楽しかったです。走り方はよかったです。

3年生のマラソン大会で3位になれたことが一番の思い出です。

4年生のマラソン大会で9位をとったのが思い出です。

わたしの思い出は、1年生の時ドキンパンニックというげきをひたことではじめの学芸会でみんなうりました。でもステージのフイロやテープサインが大好きでした。

わたしは、4年生のプールで25メートルを泳げたことが一番の思い出です。

去年のブラスバンドのコンクールで県大会まで行ったことが一番の思い出です。

わたしの思い出は4年生の運動会で21位になったことです。

ぼくは体育の運動で成長したことが思い出です。とくにび箱が楽しかったです。

私は4年生のマラソン大会で順位はあげられなかったけどタイムがあがったのでよかったです。

ぼくは、水泳で25メートルを泳げたのが一番の思い出です。

4年生になって初めて西宮水泳記念会に出たことが思い出です。

4年生の水泳で25メートル泳げたのが一番の思い出です。

ぼくは、4年のマラソン大会で31位をとり、楽しかったです。

ぼくは、1年の時の学芸会でドキンパンニックの歌をやったことが思い出です。

この4年間で知らない先生となかよくなれたことが思い出です。

4年生のマラソン大会で10位に入ることが思い出です。





感謝を込めてありがとう。
6年間の思い出たくさんあります。泣いたり、笑ったりとても楽しかった6年間でした。本当にありがとう一迫小学校。

6年間をたてた一迫小学校。イ休み時間にはフランクでおしゃべりどんぐりひろったりしたたのしい学校です。

一迫小学校。木の香りぬくもり、あたたかな校舎。かいくやしく、たくましくをり飛んでほしいです。ありがとう一迫小学校！

たくさんの思い出ができた一迫小学校。6年間ありがとう

ありがとう！一迫小学校。最初は校舎も何処も何処も思ひなかつたのに、何処もここを遊ばせてくれたのが良かったよ。

この校舎は木の香りがします。この学校で1年から6年まで、たくさんお世話になりました。ありがとう一迫小学校

私は一迫小学校で過ごした6年間の思い出たくさん思い出ができました。ありがとう一迫小学校

いつもいつもありがとう。修学旅行、女子男子問わず、夜遊んで楽しかったです！じしんの時守、てくててありがとう！

私が一年生のときから六年生までありがとう。ありがとう一迫小学校。これから新しい一迫小でもがんばって

ありがとう一迫小学校。ぼくは、この6年間の思い出、修学旅行が1番の思い出です。ありがとう一迫小学校

ありがとう一迫小学校。私は一迫小学校のおかげで、たくさんのおもいでかできました。

自然豊で、木のぬくもりがある、おもしろい一迫小学校。6年間、ありがとう！

1年生の時から6年生までありがとう。これからもう一迫小学校でいてください。ありがとう一迫小学校

六年かん学ばせてくれて、ありがとう一迫小学校

この6年間で楽しい経験や苦しい経験などいろいろありました。修学旅行や、運動会、いろいろあった6年間!! ありがとう一迫小

木のぬくもりがある校舎で勉強することができて、すごく良かったです。ありがとう！

ぼくの6年間の思い出は、修学旅行です。一迫小学校で楽しかった思い出ばっかりです。

ありがとう一迫小学校。私はこの一迫小学校に入学してから6年間がたつきました。これからこの一迫小学校の思い出を大切に思い出して生きていきます。

6年間ありがとう。一迫小学校、最高の6年間でした。本当にありがとう一迫小学校

ぼくはこの一迫小学校にきて、思い出ができた。工場見学、えんぐり、修学旅行。この学校は最高です。ありがとう一迫小学校。

ぼくは6年間の思い出で、修学旅行がくりよこがーばんたのじがったぞう。ありがとう一迫小学校

6年間、よい思い出をありがとう。これから思い出をつくらせてね？ ありがとう一迫小学校

ありがとう一迫小学校。6年間自分を育ててくれたことにありがとう！

いままでありがとう一迫小学校。これからもうがんばっていきましょう。

一迫幼稚園閉園に寄せて

栗原市立一迫幼稚園
園長 三塚 智恵子

「明るい声がこだまする 山王の杜にこだまする・・・」園児の歌声が園舎にこだましておりましたが、一迫幼稚園が閉園することになりました。

昭和43年一迫町立幼稚園として開園し一迫小学校に併設されていましたが、平成7年一迫小学校の敷地内に独立園舎として新築移転しました。平成11年度より、長崎、姫松、一迫の3園が統合され新たな一迫幼稚園として誕生しました。また、4・5歳児対象の2年保育も実施されました。創設から44年、歴代園長先生を中心に熱意と創意に満ちた教職員の努力によって、生涯にわたる人間形成の基礎を培う教育に取り組み、素晴らしい実績を上げてきました。

その間、保護者や地域の皆様をはじめ、多くの教職員の方々に支えられ子ども達は充実した毎日を過ごすことができましたこと心より感謝申し上げます。しかし、平成25年4月より現在の一迫幼稚園園舎を活用し、金田幼稚園と再編し「一迫幼稚園」として新たに再出発することになりました。

幼稚園で過ごす2年間は、豊かな人格を形成するための基礎となる大切な時期でもあります。様々な活動に一生懸命取り組み「できた」「うれしい」といった達成感、充実感を体感することや、子ども達同士の友情、ご家族の方々との絆、先生との信頼関係など深めていくことは、園児たちの成長過程において、かけがいのない財産となることに違いありません。園児たちには充実したものとなるように、日々の保育活動の中で、園児たちと共に新たな発見をし、たくさんの感動を分かち合い、様々な学びを共有しながら、それぞれの成長を培って行ってほしいものです。

今までの感謝の気持ちを忘れずに、これからも一迫幼稚園の思い出を大切にし、歩んでいってほしいと願っています。今後ともご支援・ご協力を賜りますと共に一迫幼稚園をよろしくお願い申し上げます。閉園の挨拶といたします。



～ ありがとう 一迫幼稚園 ～



入園式



交通教室



プール



あやめ園見学



運動会



秋の遠足



祖父母参観



カレー会





幼稚園の思い出～絵とつぶやき (年少組)

幼稚園の思い出 絵とつぶやき 楽しかったこと

【年少組 4歳児 39人】

さくら組
19名



なわとびがとべるようになったこと



たかさんのともだちと
すべりだいであそんだこと



ぶーるでせんせいと
みずのかけっこをしたこと



ともだちとあそんだこと



おやこえんそくで
どろぶつえんにいったこと



ぶーるであそんだこと



なわとびがとべるようになったこと



おやこえんそくで
どろぶつえんにいったこと



なわとびがとべるようになったこと



ともだちとおままごをして
あそんだこと



どろぶつえんにいったこと



ともだちができたこと



おやこえんそくで
どろぶつえんにいったこと



おやこえんそくで
どろぶつえんにいったこと



ぶーるであそんだこと



どろぶつえんにいったこと



ともだちと
ぶろつくであそんだこと



ぶーるであそんだこと



ぶーるであそんだこと



(年少組) 絵とつぶやき～幼稚園の思い出

ゆり組
20名



すなはでともだちと
けーきをつくったこと



うんどつかいで
かけっこをしたこと



すべりだいであそんだこと



ぶろつくであそんだこと



えんそくで
しんりんかがかんにいったこと



ねんどあそびをしたこと



いすとりげーむをしたこと



しんりんかがかんにいって
きのぼつくりであそんだこと



いすとりげーむをしたこと



おそとで
いつほんはしをわたったこと



ねんどあそびをしたこと



えんそくで
しんりんかがかんにいったこと



なわとびをしたこと



ぶろつくであそんだこと



ぶろつくあそびと
どうぶつはすけつとをしたこと



ともだちと
おうちごっこをしたこと



すべりだいであそんだこと



ぶろつくと
ねんどであそんだこと



えんちようせんせいと
こまあそびをしたこと



しんりんかがかんで
もりのしあたーにはいったこと





幼稚園の思い出～絵とつぶやき (年長組)

幼稚園の思い出

絵とつぶやき

【年長組 5歳児 48人】

すみれ組
24名



あやめえんにあそびにいったよ



みんなであやめえんけんがくにいったよ



かぶとむしをつかまえたよ



ぶーるでおよげるようになったよ



いきものさがしをしたよ



おにごっこをしてあそびたのしかったよ



あやめえんけんがくがたのしかったよ



なわとびのれんしゅうをたくさんして、とべるようになったよ



すべりだいがたのしかったよ



だいすきなともだちといっぱいあそんだよ



うんどうかいみんなでちからをあわせてがんばったよ



みんなであやめえんにおさんぽにいったよ



あやめえんけんがくがたのしかったよ



ようちえんのおにわでどんぐりをひろったよ



あやめえんでかえるとたにしをみつけたよ



ようちえんのおにわですべりだいをしたよ



きのぼりでおさるさんごっこをしたよ



きのぼりがたのしかったよ



いもほりでさつまいもがたくさんとれたよ



あやめのはながとってもきれいだったよ



きのぼりをしてあそんだよ



ようちえんのおにわでたくさんあそんだよ



ともだちとすなばであそんだよ



すなばでままごとをしてあそんだよ





(年長組) 絵とつづやき～幼稚園の思い出

ばら組
24名



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



さつまいもほりで
たくさんいもがとれて
うれしかったよ



くりすますかいで
ろーるけーきをたべて
おいしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいって
あيسをたべておいしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



うんどうかいがたのしかったよ



ぱーるあそびがたのしかったよ



どんぐりひろいがたのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



あやめえんけんがくに
いったことがたのしかったよ



ぱーるあそびがたのしかったよ



くりすますかいで
ろーるけーきをたべて
おいしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



くりすますかいで
ろーるけーきをたべて
おいしかったよ



ぱーるあそびがたのしかったよ



おやこえんそくで
どうぶつえんにいったことが
たのしかったよ



栗原市立一迫小学校閉校・一迫幼稚園閉園記念誌

発刊 平成25年3月

発行 栗原市教育委員会

企画・編集 栗原市立一迫小学校・一迫幼稚園

栗原市立一迫小学校閉校準備委員会

